

製品名: CD5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86465**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:67 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD5
別名	T1; LEU1
遺伝子 ID	921
SwissProt ID	P06127
免疫原	ヒト CD5 の合成ペプチド

背景

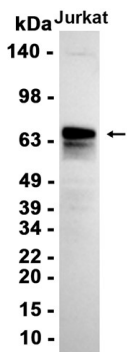
この遺伝子は、スカベンジャー受容体システインリッチ（SRCR）スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このファミ

リーのメンバーは、主に免疫系関連細胞に見られる分泌型または膜アンカー型タンパク質です。このタンパク質はI型膜貫通糖タンパク質であり、胸腺細胞、Tリンパ球、および一部のBリンパ球の表面に存在します。コードされているタンパク質は3つのSRCRドメインを含み、T細胞の増殖を制御する受容体として機能すると考えられます。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2016年10月]

研究分野

-

画像データ



CD5 ウサギモノクローナル抗体を 1:6000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。